

第2回 市場検証委員会 参考資料

第1回会合における 追加質問への回答

(NTT株式会社提出資料)

令和7年8月5日

1. NTTが説明するソリューション市場の中の個別の市場で、どういった事業者がプレイヤーとなっているのか。

■ 国内ITサービス市場においては、以下のようなプレイヤーがいると認識しています。

委員限り

2. (売上高に基づく)市場シェア以外に市場支配力を決定する要因はどのようなものがあるか。

- 電気通信市場においては「ボトルネック設備」や「電波の有限希少性」といった市場支配力の決定要因がありますが、ソリューション市場においてはそのような要因はないものと考えます。
- ソリューション市場は、お客様の多様なニーズ・課題の解決を目的として、各事業者が自社・他社の様々なサービスや製品を組み合わせ提供することが求められる市場であり、その結果としてメーカー、SIer、コンサルティングファーム等、多様なプレイヤーがシェアを分け合っており、特定の上位事業者が大きなシェアを占有している電気通信市場の市場構造とは全く異なるものと考えます。

3. NTTデータのデータセンター市場におけるシェアや競争上の地位はどのくらいか。

- NTTデータグループは、世界約20都市でデータセンタビジネスを手掛けており、グローバルシェアは約6%で、世界第3位※です。

※中国事業者を含まず。Structure Research 2023.5 Reportより当社にて作成

委員限り

4. NTTデータの世界市場における地位はどのくらいか。

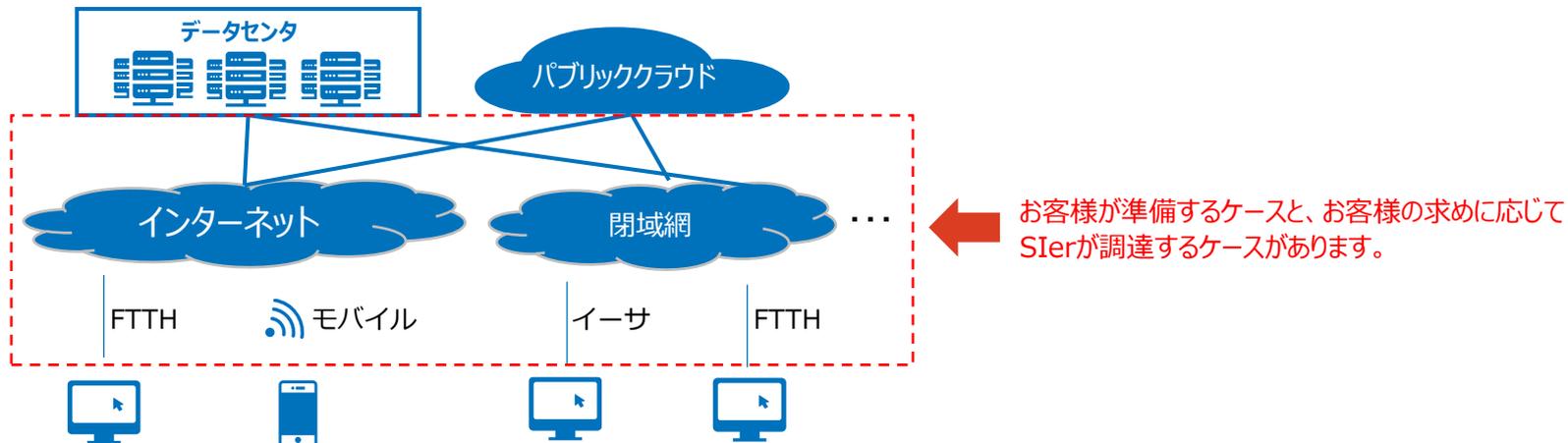
- NTTデータグループの世界のITサービス市場でのシェア※は世界第8位です。

※Gartnerリサーチ（2024）をもとに当社にて算出

5. NTTデータは、（NTT東西やドコモ等の）ネットワークをどのように利用しているのか。

- NTTデータが調達しているネットワークの利用用途は区々ですが、主にお客様拠点間のネットワークや、NTTデータが提供するプラットフォームサービス（SaaS等）までのアクセス回線等として利用しています。
- なお、ネットワークサービスは、コモディティ化が進展したことによって、システムとは別に調達することが可能となっていることから、お客様が自ら調達するケースと、お客様からの求めに応じてNTTデータが提供するケースがあります。

<ソリューション市場のネットワークの調達イメージ（例）>



6. NTTデータが利用するネットワークの価格（NTTグループ内からの調達価格）はどのような水準なのか。

- NTTグループ各社が提供しているネットワークサービスは、基本的には約款や利用規約で規定している料金で提供していますが、NTTデータを含む大規模需要家に対しては相対料金で提供する場合があります。
- 相対料金の決定方法については、グループ内事業者か否かを問わず、契約内容（契約期間、利用帯域、利用回線数等）等に応じて価格決定を行っています。
- なお、NTT東西・NTTドコモは電気通信事業法の禁止行為規制により、その電気通信業務についてNTTデータを不当に優先的に取り扱うことが禁止されています。